

製品名: HSP40 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12245**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	DNAJB1
別名	DNAJB1; DNAJ1; HDJ1; HSPF1; DnaJ homolog subfamily B member 1; DnaJ protein homolog 1; Heat shock 40 kDa protein 1; HSP40; Heat shock protein 40; Human DnaJ protein 1; hDj-1
遺伝子 ID	3337.0
SwissProt ID	P25685
免疫原	抗血清はヒト HSP40 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

背景

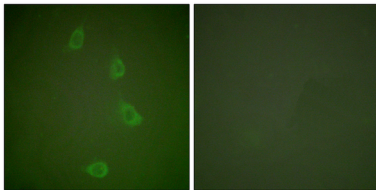
この遺伝子は、DnaJ または Hsp40 (熱ショックタンパク質 40kD) ファミリーのタンパク質をコードします。DNAJ ファミリーのメ

ンバーは、「Jドメイン」と呼ばれる高度に保存されたアミノ酸配列を特徴とし、タンパク質のフォールディングやオリゴマータンパク質複合体の組み立てなど、幅広い細胞イベントに関与する分子シャペロンの2つの主要なクラスの1つとして機能します。コードされているタンパク質は、Hsp70 熱ショックタンパク質の ATPase 活性を刺激する分子シャペロンであり、タンパク質のフォールディングを促進し、ミスフォールドしたタンパク質の凝集を防ぎます。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015年9月]、機能: HSP70 と相互作用し、その ATPase 活性を刺激します。HSC70 と HIP の会合を刺激する。誘導:熱ショックによる。類似性:1つのJドメインを含む。細胞内局在:熱ショックを受けると、細胞質から核、特に核小体へ急速に移動する。サブユニット:DNAJC3 と相互作用する。、

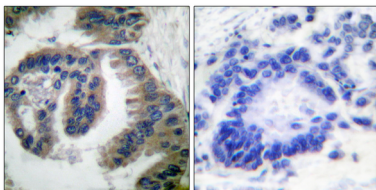
研究分野

シグナル伝達

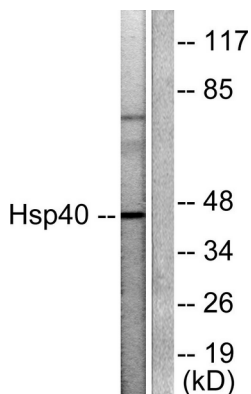
画像データ



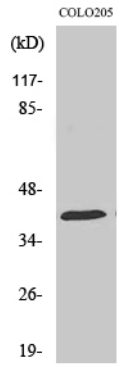
HSP40 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HSP40 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



COLO205 細胞ライセートの HSP40 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HSP40 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析